

特別支援教室のお便り

11月号

杉並区立高井戸第四小学校
特別支援教室拠点校

たかし教室直通03-5336-9522

あの猛暑の夏がウソのように、秋が深まってきました。各校では、学芸会、音楽会、移動教室などいろいろな行事が行われています。「大変だった」「意外とうまくいった」「頑張った」「つらかったけど、乗り越えた」「何とかやり過ごした」など、子供たちは一人一人様々な思いや感じ方をしているでしょう。この一つの経験、思い、感じ方、全てが子供たちの成長の大きな糧となっていくと思います。



9月より新規入室対象の保護者個人面談

今年度9月より新規に入室された方対象の保護者個人面談を12月に行います。2学期の子供の様子や学習などについて振り返りながら、子供や保護者の願いやニーズ、悩みについて伺い、今後の指導や支援の方針、目標、具体的手立てなどについて話し合います。

◇日時 12月19日(火)午前、20日(水)、21日(木)午前、22日(金)午後 いずれか1回

※別紙「高四小エリア保護者個人面談日時希望調査」をご提出ください。

※9月の新規入室以外の方で個人面談をご希望される方は、その旨を日課帳等でお知らせください。

「忘れること」や「うっかりミス」のこと

「学習に必要な物を学校に持って行くことを忘れる」「提出物を出し忘れる」「学校から持ち帰る物を忘れる」「聞いた話や指示を忘れる」「約束を忘れる」「電話番号を間違える」「鍵を失くしてしまった」など、忘れることやうっかりミスが繰り返されるケースがあります。この場合、「頑張りや努力不足」など気持ちや意欲、生活態度の問題にされやすいですが、多くの場合、そうではありません。もともともっているその子供の成長や学び方の特性が関係していることが多いです。脳の中に記憶を一時的に保持して、必要に応じてそれを取り出したり、関連付けたりする働き＝「ワーキングメモリー」がまだ発達していないことも考えられます。だから、頑張りや努力では、どうにもならないことです。

では対策は・・・

◇ 自分なりの忘れ物防止策をもっておく→習慣に

- ・付箋やテープ、ホワイトボードなどに書いて貼ったりして見るようにする
- ・手の甲、手のひらに書いておき、見るようにする
- ・ウェアブルメモ(WEMO)に書いて、手首などに装着して活用 など

◇ 忘れたあと、ミスをしたあとの対応(スキル)を考えておく

◇ 必要なときに助けを求める、手伝ってもらうなどができるようにする



これらの対策、工夫を考えて取り組む子供を、周囲の大人たちが褒めたり認めたりする

サポートされたり便利グッズを利用したりしてでも、「できた」「うまくいった」という成功体験が積み重ねられると、意欲や自信が大きくなり、実力以上の思わぬ力を発揮することがあります。そのことで成長が促されたり、意識化、習慣化されたりして、「できるようになったみたい」という場面が増えてきます。また、これらのサポートは、実はワーキングメモリーの働きも活用しているので、その働きが活発になることも期待できます。

(裏面へ)

予告

3学期保護者研修会 令和5年1月18日(木)午前10時より 高井戸第四小学校にて。
内容など詳細は、次号「特別支援教室のお便り12月号」でお知らせいたします。

11月の学習予定

年 名前

◎小集団学習「みんなの時間」

「協力して連想しよう」

- ・ルールを理解し、楽しく活動する。
- ・他者意識をもって活動に取り組み、コミュニケーションを図る。
- ・言葉から想像を広げる。

「さまざまな仕事に出会おう」

- ・世の中にはさまざまな仕事があることを知る。
- ・やってみたいまたは向いている仕事について考える。
- ・自分のことや友達のことをより深く知る。



「話し合いのある活動（意見を言う、意見を受け入れる、まとめる）」

- ・自分の考えを言葉で表現して伝えたり、友達の話の話を聞いたりする。
- ・自分と友達との考えの違いに気づきながら、それを受け入れたり、自分の考えを深めたりする。
- ・友達との言葉のやり取りによる活動を楽しむ。

「記憶して正確に伝える活動」

- ・一定時間記憶した情報を頭にとどめておく。
- ・相手に正確に情報を伝える。
- ・友達と協力して活動を楽しむ。

◎個別学習「じぶんの時間」 目標や活動の内容、その他